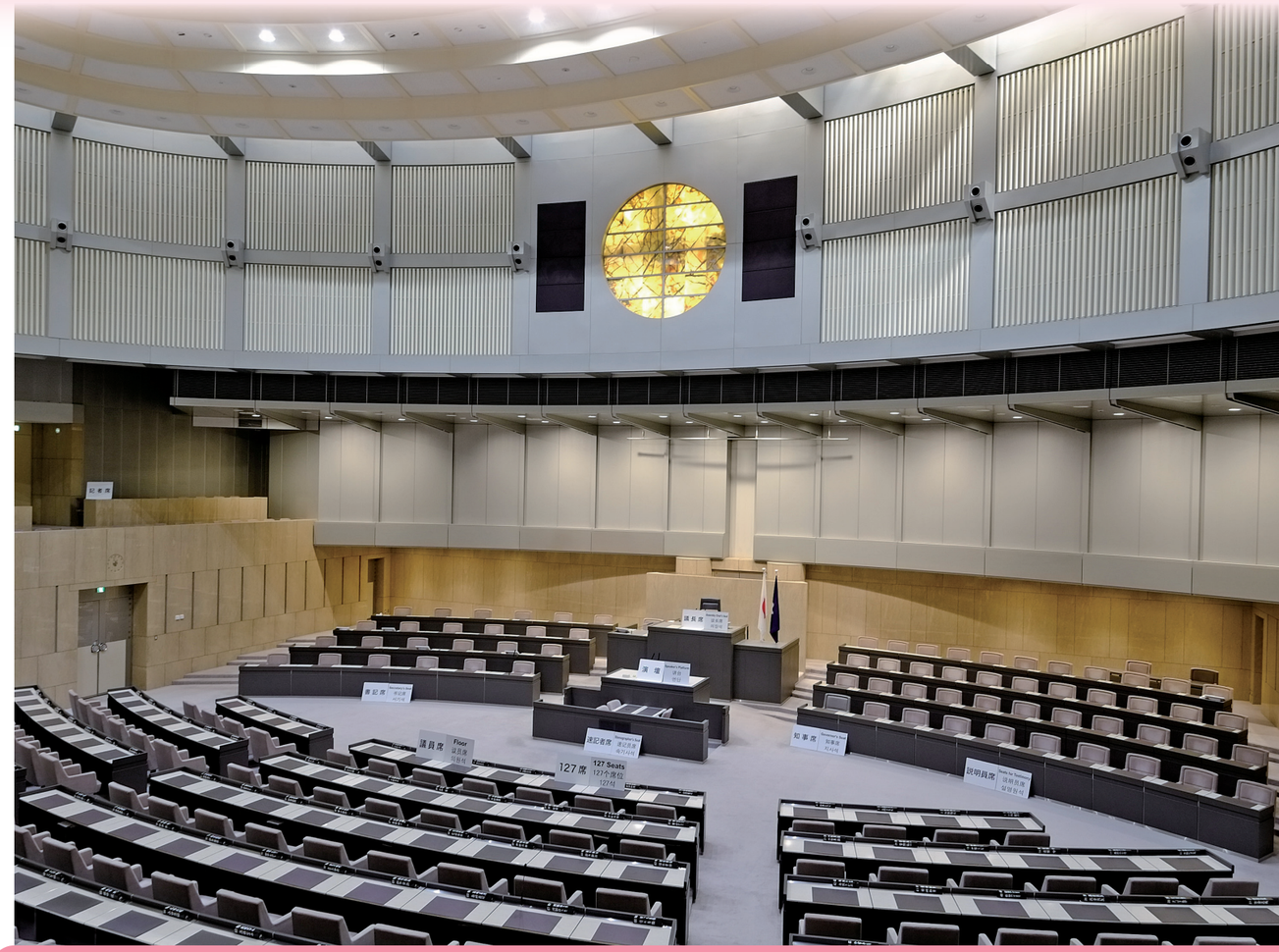
地方議会活性化シンポジウム2019

令和時代の地方議会―多様な地方議会の姿から考える―



開催日 令和元年11月14日(木)
14:30～17:30

会場 シェラトン都ホテル東京
(東京都港区白金台1-1-50)
◆シンポジウム会場 ：「醍醐」 ◆交流会会場 ：「嵯峨」

主催:総務省　共催:全国都道府県議会議長会 全国市議会議長会 全国町村議会議長会

会場への交通アクセス

▼ホテルの最寄駅からのご案内

◎東京メトロ南北線(N-02)　◎都営三田線(1-02)
白金台駅 ▶▶▶ 2番出口より左へ徒歩約4分

◎東京メトロ南北線(N-03)　◎都営三田線(1-03)
白金高輪駅 ▶▶▶ 1番出口より左方面徒歩約5分

◎都営浅草線(A-06)
高輪台駅 ▶▶▶ A2出口左方向徒歩約15分

<都営バス> 所要時間約5分
●**目黒駅 大井競馬場行〈品93系統〉** ▶▶▶ 白金台駅停留所 下車

●**品川駅 目黒駅行〈品93系統〉** ▶▶▶ 白金台駅停留所 下車

<ホテルバス> 所要時間約5分
●**目黒駅　シェラトン都ホテル東京**

●**シェラトン都ホテル東京　目黒駅**

※品川駅へはお送りのバスのみですのでご注意ください。
※発車時刻は、ホテルホームページ(https://www.miyakohotels.ne.jp/tokyo/access/index.html)等でご確認ください。

シンポジウムのお問い合わせ先

総務省自治行政局行政課
〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2
TEL：03-5253-5509　FAX：03-5253-5511

会場のお問い合わせ先

シェラトン都ホテル東京
〒108-8640 東京都港区白金台1－1－50
TEL：03-3447-4360　FAX：03-3447-6403
https ://www.miyakohotels.ne.jp/tokyo/index. html

地方議会活性化シンポジウム　2019のご案内

開催趣旨

我が国では人口減少社会を迎え、合意形成が困難な課題が増大する中、住民に身近な問題を取り扱う地方議会が担う役割の重要性は高まっているが、投票率の低下や無投票当選の割合の増加等、地方議会に対する関心の低下や議員のなり手不足等の課題は深刻化している。

他方、18歳選挙権の実現を契機として、若者の政治参加への機運を高める取組が広がっているほか、政治分野における男女共同参画推進法の成立が、女性の立候補者や、活躍する女性議員の増加を後押ししている。

このような中で、地方議会は、多様な民意を集約・反映することができるよう、議会への多様な人材の参画推進や議会審議の充実・活性化、さらに、議会や議員への住民への理解や信頼の向上等に取り組むことが求められている。そこで、各地方議会において活躍している多様な人材や先駆的に取り組まれている多様な実践に触れることができる機会として、地方議員や議会事務局職員が意見交換や交流を行うシンポジウムを開催し、広く情報発信する。

プログラム

シンポジウム　（会場「醍醐」／シェラトン都ホテル東京）

14:00　**受付開始**

14:30　**開会・総務省挨拶**

14:35　**基調講演**　　**河村 和徳** 氏　東北大学大学院情報科学研究科准教授

15:35　**休　　憩**

15:50　**パネルディスカッション**　テーマ「**令和時代の地方議会**―多様な地方議会の姿から考える―」

コーディネーター　**只野 雅人** 氏　一橋大学大学院法学研究科教授

パネリスト　**尾島　勲** 氏　鳥取県八頭町議会議員

佐藤 大吾 氏　NPO法人ドットジェイピー理事長

清水 克士 氏　滋賀県大津市議会局次長

ビアンキ・アンソニー 氏　愛知県犬山市議会議員

人羅　格 氏　毎日新聞論説委員

南　千晴 氏　群馬県榛東村議会議長

吉田 敬子 氏　岩手県議会議員

※五十音順

17:30　**閉　　会**

交流会　（会場「嵯峨」／シェラトン都ホテル東京）

17:45～18:45　**交流会**　情報交換の場です。皆さんぜひご参加ください。

基調講演

河村 和徳（かわむら かずのり）氏　（東北大学大学院情報科学研究科准教授）

1971年静岡県生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程を単位取得退学後、慶應義塾大学法学部専任講師（有期）、金沢大学法学部助教授を経て、2007年から現職。総務省「地方議会･議員のあり方に関する研究会」構成員等を務める。著書に『被災地選挙の諸相Ⅱ　選挙を通じて考える被災地復興の光と影』ほか。

パネルディスカッション

令和時代の地方議会―多様な地方議会の姿から考える―

コーディネーター

只野 雅人（ただの まさひと）氏
一橋大学大学院法学研究科教授

1964年東京都生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士（法学）。広島修道大学法学部助教授、一橋大学法学部助教授などを経て、2005年から現職。総務省「地方議会･議員のあり方に関する研究会」座長等を務める。著書に『選挙制度と代表制』、『代表における等質性と多様性』ほか。

パネリスト

尾島　勲（おしま いさお）氏
鳥取県八頭町議会議員

1963年鳥取県郡家町（現八頭町）生まれ。奈良大学卒業。多数の業種を渡り歩き、2007年より株式会社アスコ勤務（現企画部参与）、2013年八頭町議会議員に初当選。会社員の視点で物申す議員として、現在二刀流を実行中。モットーは、「出来ない理由を口にせず、どうしたら出来るかを考え行動します」。

パネリスト

佐藤 大吾（さとう だいご）氏
NPO法人ドットジェイピー理事長

1973年大阪府生まれ。大阪大学法学部在学中に起業、その後中退。1998年、若年投票率の向上を目的にNPO法人ドットジェイピーを設立。議員事務所、大使館、NPOなどでのインターンシッププログラムを運営。これまでに3万人の学生が参加、うち約100人以上が議員として活躍。

パネリスト

清水 克士（しみず かつし）氏
滋賀県大津市議会局次長

1963年京都市生まれ。同志社大学法学部卒業。1985年大津市役所入庁。議会局では、議会の政策立案に資する専門的知見を導入するため、産学官連携事業の経験を活かして、議会と大学の連携関係を確立。著書に『議会事務局のシゴト』（ぎょうせい）、論稿は『議会局「軍師」論のススメ』（月刊ガバナンスに2016年4月から連載中）など。

パネリスト

ビアンキ・アンソニー 氏
愛知県犬山市議会議員

1958年NYブルックリン生まれ。ニューヨーク大学映画制作専攻卒業。ハリウッドで様々な番組に携わる。NY市役所、愛知県庁義務教育課、犬山市役所教育委員会を経て、2003年犬山市議会議員初当選、2017年から2年議長を務める。現在5期目。著書に『前例より前進』。

パネリスト

人羅　格（ひとら ただし）氏
毎日新聞論説委員

北海道札幌市生まれ。1985年毎日新聞社入社。政治部官邸キャップ、同副部長などを経て現職。政局取材を主に担当。地方自治が専門領域。政府の地方分権改革有識者会議専門部会委員。東京都明るい選挙推進協議会委員。マニフェスト大賞審査委員。

パネリスト

南　千晴（みなみ ちはる）氏
群馬県榛東村議会議長

1980年群馬県生まれ。高崎経済大学卒業後、一般企業に勤務。2007年榛東村議会議員に初当選。現在4期目。2017年高崎経済大学大学院地域政策研究科修士課程修了。同年4月榛東村議会初の女性議長に就任。2018年現職議長として産休を取得。2019年群馬県町村議会議長会副会長に就任。議長3年目。議長と子育ての両立に奮闘中。

パネリスト

吉田 敬子（よしだ けいこ）氏
岩手県議会議員

1978年岩手県盛岡市生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒業後、都内アパレル企業勤務。青年海外協力隊としてボリビアにて女性や子どもの生活向上に従事（村役場勤務）、岩手県男女共同参画センター勤務を経て、2010年岩手県議会議員に初当選。現在4期目。2018年に岩手県議会初の産休を取得。